

第2回学校関係者評価委員会議事録

1. 日時：令和 8年 2月16日（月） 13：00～14：30

場所：八戸理容美容専門学校 会議室

2. 出席者：飯田委員、佐々木由香子委員、梅田委員、佐々木委員

3. 事務局：伊藤 有信 (学校運営) 長根 美佐子 (担当責任者)
高谷 真紀子 (学校運営) 蒔田 翠 (担当責任者)

4. 議事

- ・ 学校長挨拶
- ・ 委員長あいさつ

資料配布の確認

資料

- ① 学生アンケート集計結果分析
- ② 保護者アンケート集計結果分析
- ③ 矜持2部

①学生アンケート結果の分析

- ・ 2年生は1年生に比べ、一部自己評価がやや低下している項目も見られたが、成長に伴う自己認識の変化によるものと捉えられるとの意見があった。
- ・ 「仲間と協力する」などの項目は好評価を維持しており、良好な人間関係が築かれている様子がうかがえる。
- ・ 家庭学習に関する項目は依然として課題であり、主体的な学習習慣の確立に向けた継続的な指導が必要との確認がなされた。

②保護者アンケート結果

- ・ 概ね高い評価をいただいている一方で、一部の項目について改善の余地が示された。
- ・ 学校運営状況の情報公開については、ホームページやSNS等で発信を行っているが、より分かりやすい周知方法を検討する必要があるとの意見が出された。
- ・ 数値の大小に一喜一憂するのではなく、改善に活かす資料として活用することを確認した。

③就職状況について

- ・ 美容科9割の学生が内定済み（会議時点）
- ・ 数名が引き続き就職活動中
- ・ 国家試験は全員受験予定

国家資格としての意義を再認識し、資格取得後のキャリア形成についても意識づけを強化していくことが共有された。

④就職後の定着・離職防止について

本委員会では、就職後の定着率向上について重点的に協議を行った。

◇主な意見として

「辞めない力」の育成

- ・ 単に離職を防ぐのではなく、困難を乗り越える力を育てる教育が重要。
- ・ 主体的に学ぶ姿勢を在学中に身につけさせる必要がある。

現場理解の強化

- 就職前に現場の実情や責任の重さをより具体的に伝えることが有効。
- 進路選択時のマッチングの重要性。

学校とサロンの連携

- 学校だけでなく、受け入れ側であるサロンとの協力体制が不可欠。
- 経営環境や労働条件の整備も定着率向上に影響するとの意見。

卒業後のフォロー

- 卒業生が相談できる体制づくりの必要性について検討課題として共有。

⑤今後の取り組み

本委員会で出された意見を踏まえ、

1. 主体性を育てる教育の強化
2. 家庭学習の習慣化
3. 情報発信方法の改善
4. 就職前後の支援体制
5. サロンとの連携強化

などについて具体的な手立てを検討していく。